

令和8年度 豊坂小学校 学校教育の方針

1 本校の教育目標

【校訓】

さとく（知） 自ら学ぶ喜びを感じる子	正しく（徳） 自他のよさを大切にする子	すこやかに（体） 心身ともに健康な子
-----------------------	------------------------	-----------------------

めざす子ども
自ら考えて行動し、よりよい生き方を追求するたくましい子ども

めざす学校		
子どもが主役の わくわくあふれる学校	地域に開かれた ふれあいある学校	笑顔いっぱい 活力あふれる学校



“あこがれ” が伝播する 「豊坂笑楽校」

2 経営方針

- ア 一人一人を伸ばす創意工夫された教育活動を展開し、「あこがれ」が広がり、創造することで、知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性や自律心を育む。
- イ 子ども理解に努め、全校の子どもを全職員で育てる。特別な支援等の必要な子どもに対しては、保護者や関係機関と連携して共通理解を図り、適切な支援・指導にあたる。
- ウ 教育活動を公開し、コミュニティスクールとして家庭・地域・学校が一体となって、子どもの健全育成や安心・安全を確保する学校経営を展開する。

3 本年度の重点努力目標

ア 知恵づくり（知）

- ・ 学区の「人・もの・こと」を生かした問題解決的な学習や体験活動、自ら考え、試行錯誤する場の設定等、子どもの思考に即した単元構想をもとに授業を展開し、学ぶことの楽しさや学びを活かすことのおもしろさを味わえるようにする。
- ・ わかる・できる授業づくり（ICT活用を含む）の推進とアセスメントによる見取りに基づいた学習内容の定着や学力向上を図り、自ら学びに向かう姿勢を育成する。
- ・ 各教科において言語活動（特に「話す・聞く」）を充実させ、表現力の育成を図る。
- ・ 発達段階に沿ったキャリア教育を推進し、自分らしい生き方を実現させる力を育成する。

イ 心づくり（徳）

- ・ 自分と友だちのよさを認め合い、高め合う温かい学級集団、人間関係づくり（「とよさかタイム」の活用）に努め、異学年交流（委員会活動、クラブ活動、縦割り活動、清掃活動）により「あこがれ」の伝播を生み出す。
- ・ 生き方を考え、話し合う道徳教育を推進し、豊かな心情と道徳的実践力を育む。
- ・ 体験活動や縦割り活動、地域の方とのふれあいを通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- ・ 読書活動や読み聞かせ活動を通して、読書習慣を身に付け、豊かな感性を育む。

ウ 体づくり（体）

- ・ 食育・健康教育の推進と家庭との連携により、基本的な生活習慣の確立を図り、体と心の健康を育む力を高める。
- ・ チャレンジタイムや自由遊びの時間を通して、楽しく体を動かし、たくましく生きる体力の増進を図るとともに、仲間とともに活動する楽しさを味わえるようにする。
- ・ 相撲大会、縄跳び大会等の伝統行事を通し、地域と連携して運動に親しむ意欲を高める。